

# 「唐津を交わりの街に」

建築都市  
研究会  
佐賀県唐津市で14日か  
ら開かれていた「国際建  
築都市デザインワークシ  
ョップ唐津2010」は  
最終日の23日、同市西城  
内の市民会館で公開講評  
会を行った。都市建築学  
を学ぶ世界15カ国の学生  
43人が、10日間に及ぶ現  
地学習会で練り上げた城  
下町・唐津の新しい都市  
デザインを発表した。

日本建築学会などが初  
めて主催。「再編集のア  
ーバンデザイン―歩きた  
くなる唐津への再生」を  
テーマに、学生は唐津城  
などの名所を訪れて歴史  
や文化を学んだほか、市  
民への聞き取りで中心市  
街地の実態を調査。歴史  
と自然に恵まれた唐津の

魅力を生かしつつ、衰退  
が顕著な中心市街地の活  
性化を促す都市デザイン  
を考えてきた。

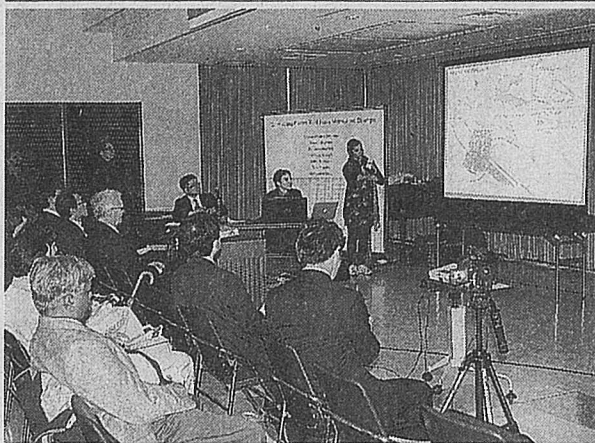
講評会には関係者や市  
民ら約90人が参加。学生  
は「唐津は交易や交通の

要衝だったが、現在はそ  
の役割を果たせていな  
い」と指摘し、都市デザ  
インの指針に「交・まし  
わり」を提言。「唐津城  
と唐津神社、商店街の3  
地区を結ぶ歩道の整備

を」松浦川、町田川沿  
いに広場を設け、憩いの  
場として活用する」など  
と次々に提案した。

斬新な提言に山下正美  
市総合政策部長は「住ん  
でいては気付かないアイ  
デアばかりで新鮮。今後  
のまちづくりに生かした  
い」。市旅館協同組合の  
川添晃理事長は「現在の  
唐津が抱える問題を的確  
に指摘していて、参考に  
なった」と話した。

(岩合瞬)



公開講評会で、唐津の新しい都市デザインを提言  
する学生  
＝23日午後、佐賀県唐津市